

ワークショップ参加者を募集します！

<対象>

- 坂井輪中学校区内にお住まいの方 ※市議会議員および市職員を除く

かつ

- まちづくりについて興味・関心のある方で、可能な限り継続的にワークショップに参加できる方

<ワークショップ開催予定>

回	日時	内容	会場
第1回	平成30年9月下旬 平日夜間または休日昼間 3時間程度を予定	<ul style="list-style-type: none"> 地域における公共施設の課題(報告) ワークショップの進め方について(説明) 意見交換 	坂井輪健康センター 会議室 (予定)
第2回	平成30年11月頃(予定)	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換 	
第3回	平成31年1月頃(予定)	→検討をもとに地域のプランを作成	

※回数などは変更する可能性あり

<応募方法>

応募用紙に必要事項を記入の上、平成30年8月31日 午後5時までに、郵送、ファクス、電子メールまたは持参で、下記の申し込み先に提出下さい。

申し込み方法	申し込み先	問い合わせ先
郵送	〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課 企画・地域振興担当 宛	地域別実行計画 コミュニケーション事務局 西区地域課: Tel.025-264-7161 財産活用課: Tel.025-226-2387
ファクス	025-269-1650 西区地域課 企画・地域振興担当 宛	
電子メール	chiiki.w@city.niigata.lg.jp 西区地域課 企画・地域振興担当 宛	
持参	西区地域課	

<募集人数>

若干名(応募者多数の場合は、年齢・性別などを考慮し選出します。)

<その他>

- ワークショップには、公募の参加者のほかに、各種団体などから推薦を受けた人も参加します。
- ワークショップ参加に伴う報酬・交通費等の支払いはありません。
- 選出結果は、平成30年9月15日までに、申込者にハガキで通知します。
- 個人情報については、ワークショップの実施のために使用し、その他の目的には使用しません。

----- き り と り -----
ワークショップ(坂井輪)応募用紙

ふりがな		年齢	歳	性別	男・女
氏名					
住所	〒 —	電話番号	—	—	
応募理由					

新潟市
財産経営NEWS
広報紙 第1号

一緒に考えませんか？ 坂井輪地域のまちづくり ～公共施設のこれから～

新潟市では、平成27年7月に、「財産経営推進計画」が策定されました。この計画は、少子・超高齢化社会などに対応し、将来世代に過度な負担を強いることのないよう、市有財産の効率的な管理・利活用を図っていくための方針を定めたものです。

この計画に基づき、地域の身近な公共施設については、地域みなさんと市・区役所が協働で、そのあり方について検討していきます。

<発行者> 地域別実行計画コミュニケーション事務局
(西区地域課: Tel.025-264-7161 市財務部財産活用課: Tel.025-226-2387)

平成30年8月発行

坂井輪地域の公共施設のあり方について検討を開始します！

坂井輪中学校区では、児童数の増加に伴い大規模校となった新通小学校のあり方について平成24年から地域みなさんと意見交換を行い、新通小学校を分離し新たな小学校を整備することとなりました。現在、市では平成32年度の開校を目指し、建設の準備を進めているところです。

この分離新設校の整備をきっかけとして、現新通小学校に生じる空き教室の活用など、坂井輪中学校区の公共施設のあり方について、地域みなさんと市・区役所がともに考えるワークショップを開催することとしました。

ワークショップとは？

参加者が意見やアイデアを出し合い、話し合いをしながらその成果をまとめあげていく検討方法です。

参加者はいくつかのグループに分かれ、専門の司会(ファシリテーター)の進行で、年齢などにかかわらず対等な立場で意見交換を行います。

今回のワークショップの参加者は、坂井輪中学校区でコミュニティ活動をしている人や、公共施設利用団体の代表、PTAなどのほか、公募によるメンバーにより構成されます。



ワークショップの位置付け

「財産経営推進計画」では、中学校区を基本とした地域ごとに、地域みなさんと協働で、公共施設の将来のあり方を示す地域別の「実行計画」を策定することとしています。ワークショップは、この実行計画を策定するにあたり、地域みなさんのご意見を反映するための機会のひとつです。

新潟市は、ワークショップなどで得られた成果をもとに検討を行い、地域別の「実行計画」を策定します。

地域の公共施設の将来の姿(再配置計画)

ワークショップ参加者を募集します！
ワークショップ参加(公募)の
応募用紙は、最終ページにあります！



「すいかのおやぶん」
(「新潟すいか」イメージキャラクター)



取り組みの必要性(公共施設のあり方について検討する必要性!)

- ・昭和50年代に整備された公共施設の老朽化が進み、修繕や建替えの時期が一斉に到来
- ・将来の人口減少と世代構成の変化への対応が求められている
- ・現状ではすべての公共施設を維持していくことは困難 など

公共施設をめぐる課題



これらの課題に対応するため、平成27年7月に「財産経営推進計画」が策定されました。

計画では、公共施設を効率的に管理・利活用していくための基本的な考え方などを示しています。

公共施設の基本方針

総量削減

人口減少や厳しい財政状況などを踏まえ、施設に係る費用の削減や需要に見合った施設規模での更新、集約化・統廃合による施設の見直しなどを行います。

サービス機能の維持

単一目的の施設から多機能化・複合化施設への転換を図り、施設規模は縮小しても、スペースの有効活用などによりサービス機能を可能な限り維持します。

財産経営の4つの柱

施設の最適化

既存施設の転用や多機能化・複合化、民間サービスによる代替などにより、施設の最適化を進めます。

施設の長寿命化

定期的な点検・診断と保全などにより、施設の長寿命化を図ります。

歳出の削減

施設の修繕・更新時期に合わせ、施設規模の見直しや管理・運営の効率化などによりコスト削減に努めます。

歳入の確保

施設跡地など不要となった財産は、売却・貸付を行うことで歳入の確保に努めます。

地域と協働で公共施設の最適化を検討し、地域別の「実行計画」を策定します。

財産経営推進計画では、地域のみなさんと協働で、地域単位で公共施設の最適化を検討し、具体的な地域別の「実行計画」を策定することとしており、中学校区を基本とした55の地域ごとに、学校統合や、主要な施設が更新時期を迎えるなど、公共施設に動きのある地域から順次策定に着手することとしています。

これまでに、3地域で「実行計画」が策定されました。取り組みは右記よりご覧ください。

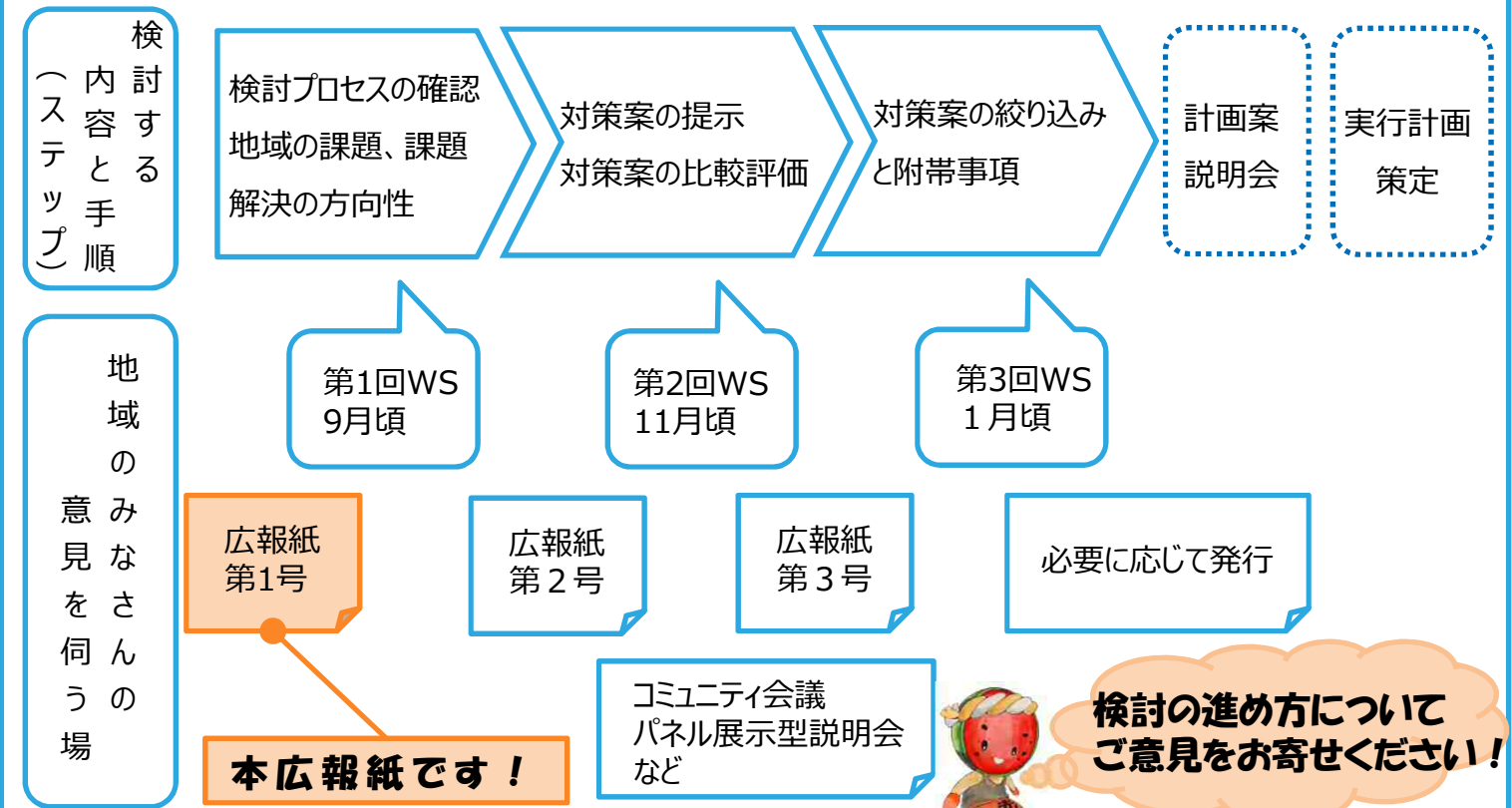


<http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/zaisan/zaikeitorikumi/jikkei.html>

地域別の「実行計画」の検討の進め方

坂井輪中学校区では、新通小学校の分離新設校の整備を契機として、公共施設のこれからを考えるワークショップ（WS）を開始します。ワークショップなどで得られた成果をもとに、地域の公共施設の将来のあり方を示す「坂井輪地域実行計画」を作成します。

ワークショップ以外にも、本広報紙やコミュニティ会議などを通して地域のみなさんの意見を反映するための様々な機会を設けていきます。



ワークショップ以外に、地域のみなさんの意見を伺うコミュニケーション方法

広報紙

ワークショップや市の検討状況を地域のみなさんにお伝えするための広報紙です。

コミュニティ会議

様々なコミュニティ（自治会や保護者団体など）に、事務局が直接お伺いし、集まれたみなさんに詳しい状況をお伝えし、意見交換を行います。

パネル展示型説明会

公共施設などで検討の状況をしめしたパネルを展示し、集まれた地域のみなさんにくわしい状況をお伝えするとともにご意見をお伺いします。



パネル展示説明会の様子

ご意見・お問い合わせはこちらまで

地域別実行計画コミュニケーション事務局（西区地域課・市財務部財産活用課）

郵便

〒950-2097
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号

電話

025-264-7161

メール

chiiki.w@city.niigata.lg.jp

FAX

025-269-1650